

ご意見の概要と町の考え方

「川西町子ども・子育て支援事業計画」(素案)に対するご意見の募集(パブリックコメント)実施結果について

「ご意見の概要」については、原文を要約して載せております。

No.	該当箇所	ご意見の概要	町の考え方	担当部署
1		<p>放課後児童健全育成事業について</p> <p>もう少し定員を多くできるような建物を作ることはできなかったのでしょうか。</p> <p>何年生まで受け入れるつもりでしょうか。</p> <p>あくまでも個人の意見ですが、兄弟姉妹がいても一定学年で線引きが必要だと思います。委託先との都合もあるでしょうし、定員が割れていれば高学年のお子さんを受け入れることは容認できます。</p>	<p>建替えに伴い、建替前の定員50人から建替後は定員70人に増員しましたが、利用希望数の増加により80名まで定員の増加を検討しています。</p> <p>法改正により、受け入れは6年生までが対象となっております。</p>	健康福祉課
2	P35 第3章 今後の課題と施策の大綱	<p>地域放課後子ども教室の充実について</p> <p>文化交流体験だけを目指すのでしょうか。</p> <p>町内で有料で行われている個別教室にはない「地域放課後子ども教室」はないのでしょうか。</p> <p>子どもが参加してみたいと考える、地域放課後子ども教室について、子ども達からの需要をアンケートで取ってみてもいいのではないのでしょうか。なぜ参加したいのか、なぜ参加したくないのかなど、子どものニーズを知ることも必要ではないのでしょうか。</p>	<p>現在、名称が変わり、学校・地域パートナーシップ事業として、文化会館では、少年少女合唱団・子ども和太鼓講座・子どもお琴講座・能楽講座を体育館では、空手教室・なぎなた教室を実施しています。教室ではないですが、平日であればいぶき子どもセンターで多くの児童が集まっています。又、物づくりや体験学習事業も行っています。</p> <p>なお、文化会館(図書館も含む。)は27年4月から水曜日も開館することになりました。小学生が水曜日は早く下校しているため、図書館を有効に利用して頂きたい。また、子どものニーズを把握する為のアンケート調査を、小学校と子どもセンターと相談のうえ実施予定です。</p>	社会教育課
3	2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2)進捗状況の概要	<p>学校施設の開放について</p> <p>サッカーと野球にだけ開放ですか。</p> <p>所属していない小学生や地域の子も達は自由に遊ぶことはできないのでしょうか(サッカーや野球の利用がない日や放課後など)。</p> <p>セキュリティーなどの問題があるのでしょうか。</p>	<p>現在、セキュリティの関係で一般貸し出しはしておりません。</p> <p>但し、スポーツ団体(川西スポーツクラブ)土・日曜日は健民運動場だけでは活動が困難なため、学校と管理運営を協議し、小学校の運動場をスポーツクラブ(スポーツ少年団事業)に開放しています。</p>	社会教育課
4		<p>子ども会活動への支援について</p> <p>子ども会が属する地域によってやり方は違いますが、古いいきたりが横行しています。新しい世帯を増やしたいと考えているのであれば、そういった面も一緒に考えていただけるとありがたいです。</p> <p>現状、参加できない子どもがかわいそうです。役を引き受けたくないという保護者の意識の問題もありますが、実体験を子ども達が経験していないと、子の子達が大人になった時、子ども会に対して参加しようという気持ちが現れません。結果、子ども会は消滅に向かうのです。現状、子ども会に属する世帯数が減っているところが多いのではないのでしょうか。</p> <p>また、新たに子ども会を立ち上げることの可否などはどこに尋ねていけばよいのでしょうか。</p>	<p>現在、子ども会加入条件は自治会ごとに決められています。教育委員会事務局社会教育課では、子ども会を立ち上げ際の諸問題について、相談対応しアドバイスを行っています。自治会未加入でも子ども会に入って活動されている方もありますので、今の子ども会役員さんと良く話し合う必要があると考えます。</p>	社会教育課
5	P36 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2)進捗状況の概要	<p>リーダーバンクの設置について</p> <p>私自身、こういうものがあることを知りませんでした。</p> <p>どこで告知されていたのでしょうか。</p>	<p>現在は、名称変更で地域支援ボランティアとして登録されています。町の広報誌で募集し、コスモスホールスタッフ・面塚・面塚公園清掃及び剪定・文化会館前の花植えメンバーがおられます。各グループで活動をされています。</p>	社会教育課

6	P37 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	基礎学力の定着について 「国語力の向上を図った」とあるが、それは26年度の課題・方針ではなく、25年度の取り組み状況ではないのか。それを踏まえたくえでの課題・方針を記載すべきだと考えますがいかがでしょうか。	ご意見を踏まえ記載内容を、「本に親しむことでの国語力の向上を目指し、学校改築により、各学年のフリースペースでの図書の実を進めていきます。」とさせていただきます。	教育委員会 総務課
7		学校の評価制度の充実について PDCAサイクルを利用してどのように変わってきたのか知りたいです。	現状、改善につなげていけるようPDCAサイクルの確立に努めているところで。	教育委員会 総務課
8	P38 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	家庭教育の支援について 講座への参加が少ないのは参加者(親)の意識が低いからではないだろうか。もっと参加したくなるような講座内容にしていただきたい。 また、連携を強化するだけでなく、親の意識改革をしたり、託児をしたり、どうすれば参加が増えるのかを考えていただきたい。	H24年度までは、教育委員会主催で1回と子育て支援センターとの共催で1回、あわせて年間2回の講座を実施してきました。子育て支援センターでの講座は、同センターが主催する子育て講座(年間10回)のうち1回を家庭教育学級と位置づけ、従来より共催で実施してきたものですが、参加者の層が乳幼児の保護者に偏ること、参加人数も少ないため、H24年度をもって共催での実施を見合わせることにしました。 教育委員会主催講座については、連合PTAとの連携のもと内容を定めるなど一人でも多くの方に参加いただけるかたちを模索してきましたが、参加人数の増加につなげることができませんでした。 園・学校や連合PTAにおいても、講座等を実施する際に参加者が少ないという課題を抱えており、H25年度以降は講座を一本化し、集中して参加を呼びかけるということで、小学校が連合PTA共催で開催している教育講演会の講師謝金として予算を執行しています。 今後についても、園・学校との連携のもと、小学校を開催場所として家庭教育の向上につながる内容の講演会を実施してもらう方向で進めていきたいと考えています。 なお、事前に申し出いただければ、預かり保育ボランティアスタッフの手配をいたします。	社会教育課
9		教育講演会などの充実について 家庭教育の支援のための講座と、教育講演会との違いは何なのでしょう。	家庭教育の支援のための講座と教育講演会は、どちらも主に子育てに関する講座です。	社会教育課
10		子育てサポーターの養成について 子育てサポーターのための子育て講座ですか？ 子育てサポーターを育てるために利用されている場合もありますが、「子育て世代が子育てするために」必要なことを知る場所が子育て講座なのかと思っていました。 この欄は「子育てサポーターのための」子育て講座を実施しているという解釈でいいのでしょうか。それなら今の親のニーズを知る講座など、専門性のある講座が必要なのではないのでしょうか。	子育て講座は親子で参加していただいている講座ではありますが、サポーター養成講座も兼ねて実施しております。	子育て支援 センター
11		学校と主任児童委員・民生児童委員との連携について 必要に応じて実施できるように、いざという時のつながりは確立されていますか。	民生児童委員協議会の児童部門の専門委員が小学校を訪問し、管理職と意見交換を行い、地域と学校との連携体制を深めています。児童虐待防止等の関係では主任児童委員が中心となり連携を行っております。	健康福祉課 教育委員会 総務課
12	P39 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	児童虐待防止 対策の充実について 学校などと更なるどういった連携を図るのでしょうか。	虐待事案が発生した場合、教育委員会から他の行政機関への連絡調整を行い対応いたします。	教育委員会 総務課

13	P39 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2)進捗状況の概要	乳幼児健康診査について 満足・良いの回答に含まれなかった26%の意見をどのように改善するのでしょうか。	どのような点が満足できなかったのかを具体的に記入していただいているので、改善できそうなところは適宜、改善していきます。例えば、検尿の容器を用意してほしいという住民の声があったので次年度からは予算を計上し配布していきます。	保健センター
14	P40 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2)進捗状況の概要	予防接種の実施について 集団予防接種を復活することはないのでしょうか？ 集団接種、検診を重ねることにより、同年代の保護者とのつながりができます。費用がかかるのはわかりますが、ここは経費を削る場所じゃないと思います。同世代の保護者と話をする機会こそが必要なのではないのでしょうか。	定期の予防接種は、法律に基づいて市町村が実施しています。厚生労働省が示した「定期接種実施要領」によると、接種場所として、「適性かつ円滑な予防接種のため、市町村長の要請に応じて予防接種に協力する旨を承諾した医師が医療機関で行う個別接種を原則とすること」としています。 今は、子どもの体調変化や親との信頼関係などのきめ細やかな対応は集団接種では行うことが困難であり、かかりつけ医であれば、あらかじめ相談を受け、不安が少ない中で接種を受けることができます。また、近年では定期接種のワクチンが増え、接種スケジュールも過密であることから、集団接種で決められた日に接種をすることが困難になってきたということもあり、川西町では現在、BCGを除く全ての定期予防接種について、個別接種対応としています。	保健センター
15	P41 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2)進捗状況の概要	幼児2人同乗用自転車購入費用の助成について 助成の復活はないのでしょうか。	幼児2人同乗用自転車の周知を図るために実施した制度であり、今後復活する予定はございません。	健康福祉課
16	P42 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2)進捗状況の概要	安心・安全情報の配信について 気象警報は配信されていますか。 防災無線から聞こえることはありますが、気象情報により下校が遅れるなどと言った配信は受けたことはありません。	気象警報の配信は防災無線で行っております。学校関係の情報についてはコスモス安全メールで配信しております。	総務課 教育委員会 総務課
17	P47 第3章 今後の課題と施策の大綱 3. 課題の抽出	地域子育て支援拠点事業の利用実績において 町外児童を含めない場合はどうなのでしょう。 町内児童の利用数を増やすためにどんな努力をされていますか。町外利用者が多い。なぜもっと町内の利用者が増えないのかと考えております。	町内利用者の利用実績は平成24年度に3,214人回、平成25年度に2,789人回となっております。利用数を増やすため、個別に訪問や呼びかけ、事業内容の強化を行っております。	子育て支援センター
18	P51 第4章 分野別実施計画 1. 地域の子育て支援の充実 (1)子育て支援サービスなどの充実	出前広場について 回数を増やしませんか(午前と午後にするとか)。 子育て支援センターに足を運ばない、運ばない方々、ひだまりとは違う顔ぶれになったりすることってあると思います。	0ヶ月から1才未満までのきずなサロンや、移動広場の回数を増やして実施しております。	子育て支援センター

19	P51 第4章 分野別実施計画 1. 地域の子育て支援の充実 (1) 子育て支援サービスなどの充実	子育て支援センターについて 生後間もない子どもから入学前の子どもまで利用できるのは素晴らしいことだと思います。幼稚園や保育所に通うようになって土日にも安心して遊べる場所があるのはとてもありがたいです。 ただし、第一子が小学校に上がる前の話です。同じ空間で乳幼児と小学生がいることの危険性はわかります。どこかで線引きしなくてはならないのもわかります。ですが、小学校に上がっているんな面で不安定な子どもから大切な遊び場をいきなり取り上げてしまうのはいかがなものでしょうか。 保育所や幼稚園を卒園後の春休み、特に年度が変わってから入学式前日まででは許可して欲しいと思います。	現在、小学校入学前日までセンター利用していただいております。	子育て支援センター
20		夏休み等の長期休暇時における一時的な預かり(学童保育所)について 入所できる基準を満たせば長期休暇からの入所も可能とありますが、長期休暇だけの預かりは可能ですか。 長期休暇だけは心配だから学童を利用したいというニーズは多いと思います。実際、「長期休暇だけ利用できたら」という声はよく聞きます。一度検討していただけないのでしょうか。	学童保育所は、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後に適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図ることを目的としています。 長期休暇だけの利用は、上記の目的から外れることになり、ご利用いただくことはできません。	健康福祉課
21	P52 第4章 分野別実施計画 1. 地域の子育て支援の充実 (2) 地域における子どもの居場所づくり	子どもセンターの充実について 子どもセンターへ上の子の送迎をする。付いて行った下の子もその場で一緒に遊ぶ。職員さんから乳幼児の利用は禁止だと言われたことはない。 いぶきのなかにひだまりがあった時、大きな子ども達の乳幼児に対する優しい目であったり、不意に優しい言葉をかけてくれたり、面倒見てくれたりと助かった記憶があります。 子どもセンターの主な利用者は小学生で、迷惑をかけてはいけないとは思いますが、中学生が来ていたり、乳幼児がいたり年齢の離れた子供同士と一緒にいられる場所って素敵なのだと思います。 ひだまりがあるので専門の保育士を常駐させる必要はないと思いますが、いぶきにも小さい子供が遊びにいけると大々的に広めるのはいかがでしょうか。(安全の確保が難しいから無理なのでしょうか。そこは保護者の責任と言うことで)	小・中学生を対象に利用できます。現在、就学前の子どもさんも、保護者同伴で利用されています。センターでは、異年齢の交流で子ども同士が学べる場所だと考えています。日々の活動と年間事業を職員で企画しており、今後、利用者のニーズを知るためアンケート調査を実施予定です。 毎年4月に子ども会の支部長会で、年間事業計画書を配らせており、夏時間として5月中旬から7月中旬まで午後6時まで開館時間の延長を行っております。就学前の子どもさんも保護者同伴で、おおいに利用してください。	子どもセンター
22	P56 第4章 分野別実施計画 4. 子育て環境の整備 (1) 安全な交通環境の整備	「安全な交通環境の整備」は前回の8項目から3項目に減っています。しかし、子どものための「交通安全の意識啓発」「交通安全教室」は必要です。追加されてはどうでしょうか。	ご意見を踏まえ、「安全な交通環境の整備」項目に「交通安全の意識啓発」及び「各種交通安全教室の充実」を追記しました。	総務課
23	P56・57 第4章 分野別実施計画 4. 子育て環境の整備 (1) 安全な交通環境の整備	歩道のバリアフリー化などの推進・通学路の整備の推進について すでにぼろぼろの点字ブロックをなんとかして欲しい。 自転車や登下校で通る場所に穴が開いていないかなどの点検はされていないのですか？ 取り組み内容以外にも壊れている点字ブロックの補修や、小学校南門前の道路が広がったことによる危険増加のための対処を望みます。	関係部署と共に通学路の点検調査を実施しております。また、必要箇所につきましては、ご連絡いただければ、点検して対処いたします。	産業建設課
24	P64・66 第5章 目標事業量 2. 地域子ども・子育て支援事業 (6) 子育て短期支援事業 (10) 病児・病後児保育事業	子育て短期支援事業・病児病後児保育事業について この2つの事業は現状では町外利用(外部委託)のようですが、利用者にとって不便はないのでしょうか。町内で実施できないのでしょうか。	町内には左記事業実施のための施設または付設の専用スペースがないため、現在は町外利用(外部委託)のみとなっております。	健康福祉課

25	P66 第5章 目標事業量 2. 地域子ども・子育て支援事業 (10) 病児・病後児保育事業	川西町で病児保育は行っているのでしょうか？	川西町で病児保育は行っておりません。病後児保育事業については、田原本町と協定を締結し行っております。	健康福祉課
26	P68 第6章 計画の推進体制 5. 川西町子ども・子育て支援事業計画の策過程	子ども子育て会議の構成員はどうなっていますか？	子ども子育て会議の委員は、13人以内で組織されており、子どもの保護者や学識経験のある者、子ども・子育て支援に関する事業に従事する者等から構成されています。	健康福祉課

以下のご意見につきましては、個別に町の考え方をお示しませんが、今後の子ども・子育て支援事業計画を実施していく中で、貴重なご意見として参考とさせていただきます。

No.	該当箇所	ご意見の概要
1	P35 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	子育て相談の充実について 子育て相談をしている事の周知徹底を「どうやって行うのか」が問題ではないでしょうか。広報に「育児相談受付中」と書くだけでなく、乳幼児の健診時など個人と対峙した時に口頭で伝えていくことも必要ではないかと考えます。ポスターや広報等で掲示するだけでは弱いと思います。解決策をウェブサイトにも求める人も多いので、具体的な周知徹底策を練っていただきたいです。
2	(2) 進捗状況の概要	一時預かり について 「一時預かり」を子育て支援センターで行っていることを知らない人が多いです。利用されてる方を見てもないと安心感が沸きません。どういった方がどういった方法で一時預かりをされているのかという情報が少ないので、預かる側や預ける側の体験談、利用感想などがわかれば利用者が増えるのではないのでしょうか。潜在ニーズは大きいと考えています。
3	P36 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	「要保護児童対策地域協議会」の運営について 虐待だけではなく、表面には現れてこない貧困で困っている要保護児童の把握もして欲しい。
4	(2) 進捗状況の概要	町内の連携強化について 「必要に応じて連携を整える」、必要に迫られてからでは遅いと思います。
5	P39 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	母親教室・ママパパ教室について 参加者が増える努力をお願いいたします。父親が行う妊婦体験は必須です。第1子だけでなく、どの子の時も参加できる雰囲気にして欲しい。実施日は参加しやすい土日を中心にしていただきたい。個別に電話、郵送で連絡もしていくべきだと思います。ここでの参加者が増えると、保護者同士のつながりであったり、健診時に話をするひとが増えたりと横の関係が繋がります。
6	P40 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	家族への啓発について 祖父母と一緒に住んでいる否核家族の大きな問題点は家族との子育て感の違い、良かれと思ってやっている事は、現代の子育てにそぐわない場合があります(離乳食の開始時期だの、感触だのさまざまあります)。その時期の注意点を回覧板にしてもいいと思います。
7	P42 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況 (2) 進捗状況の概要	防災行政無線の設置啓発および活用の推進について 防災無線をもう少し活用できないか。子育てに関する情報、福祉などさまざまな事で使えませんか(例えば、参加者を増やしたい講習会、子度立て講座)。不審者情報はメールだけでなく防災無線を使うべき。防災無線を使い、地域のかたがた全てに伝える必要があると思います。町長が月に一回3分話をするでもいいだろうし、無線子機設置の拡大にむけて「情報発信」をさまざまなことで使うべきだと思います。

8	P42 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況	防犯ブザーの配布について 配布だけでなく、正しい使い方を教えるべき。一年生の肩パッチや黄色のカバーが当然のように防犯ブザーも身につけて当然だと思うので指定位置を一年の間だけでも決めて欲しい。ブザーにホイッスルなどが入っているが一つで十分。同時に二つ渡しても使いこなせません。ブザーは音が鳴るから遊んでいるが、ホイッスルは見向きもされない。そのため、2年になってからなど時期をずらしたほうが子ども自身の必要性もわかってくれるのではないだろうか。避難訓練などの際に、防犯ブザーを鳴らす訓練もあればいいのではないだろうか。
9	(2)進捗状況の概要	個性ある公園作りの推進について 子供が外で遊べる場所を希望します。ボール遊びを禁止する公園が多いです。どの年代も遊べる公園であって欲しい。
10	P45 第3章 今後の課題と施策の大綱 2. 次世代育成支援行動計画の進捗状況	育児への父親の参加促進について ママパパ教室の周知徹底をお願いします。第1子の場合情報を得る場所がないので、近所のスーパーなどに掲示してもらったり、個別連絡をしたりするのが望ましい。また、一回限りではなく、三回連続講座といったものがあるほうが顔見知りが増えるのでいいと思います。その際、男性だけの座談会を取り入れるべきだとも思います。
11	(2)進捗状況の概要	育児休業等に関する情報提供及び取得促進に向けた取り組みの推進について これらの情報は母子手帳取得時に渡すべきであり、最新の情報がどこで見れるかも案内しておくのと良い。窓口などに設置しておくだけではだめだと思います。パンフレットを渡して、重要なところを一緒に読むぐらいのことが必要です。
12	P51～60 第4章 分野別実施計画	第4章分野別実施計画において 子ども子育て支援に必要な115の施策が掲げられています。施策ごとの内容欄を見ると、「実施します」「行います」「取り組んでいきます」と明言しているものは意気込みが強く伝わってきますが、「充実を図ります」「努めます」などは弱く感じます。明確な表現にされてはどうでしょうか。
13	P51 第4章 分野別実施計画 1. 地域の子育て支援の充実	病児・病後児保育事業について 保護者ではなく、子ども自身が病気にかかったが休めないという理由で、子どもが熱を出した、仕事休めない、頼る人もいない、どうしよう、といったものの検討はありますか。アンケートにもありましたが、川西町は祖父母や友人知人が保育される傾向が高いようですね。この先、新たな世帯を呼び込む計画があるのであれば、身近な所に頼る人がいない家庭への援助、支援を充実させるべきだと思います。そういう観点から病時保育の検討は必要だと思われます。
14	(1)子育て支援サービスなどの充実	認定こども園の設置について 町民要望があり、国の方針でもあり、川西町として実現に向けて積極的に取り組んでいただきたい。
15	P52 第4章 分野別実施計画 1. 地域の子育て支援の充実 (2)地域における子どもの居場所づくり	放課後児童健全育成事業(学童保育所)・高学年の子どもにも遊べる場を提供について 高学年にいきすとすばるの利用を勧めるとあるが、6時間授業をして、徒歩で帰宅し、いきなどに集合して遊べるのはどれくらいの時間があるのでしょうか。明るい夏場はいいけれど、すぐ暗くなる季節は使えません。帰宅したら習い事、遊ぶ時間なんてない子が多いです。居場所も必要だけど、遊ぶ時間を作ってやることも必要な時代なのでしょう。
16	P53 第4章 分野別実施計画 1. 地域の子育て支援の充実	育児に関する情報提供について 広報は見やすいが、ホームページではなかなか目的のところにたどり着きにくいので改善が必要かもしれません(子育て関連のみに特化したページがあり、関連した情報と必ずリンクさせるなど)。
17	(3)住民主導の地域活動の促進	子育てネットワークの一本化について 「子育てネットワークの1本化」は必要です。関係機関や町内各課との連携を、是非とも早急に構築していただきたい。「機能するよう連携に努めます」ではなく、早急に機能させてください。
18	P57 第4章 分野別実施計画 5. 子育てを支える施策の充実 (1)子育てに対する経済的支援	小学生の医療費無料化に向けての対策について 町の予算などから考えても無料化は難しいと考えられますが、アンケート結果をみても望んでいる声が多いことは明白です。一年生の間だけでも、など検討して頂けると幸いです。